

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	むすびのあゆみキッズ
------	------------

公表日 2025/3/28

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・活動内容によって部屋を区切り、空間を分けている。部屋の名前をつけることによって次の行動に見通しが持てるように工夫している。また、部屋ごとに視覚的な表示をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・職員の清掃にて実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・場合によっては面談室を使用し、個別の部屋として2部屋使用できるようにしている。	
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・朝礼、終礼を毎日実施し、目標の確認と支援の振り返りを実施している。	

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 内容を業務改善に繋げるところまで至っていないので、今後、評価表をもとに改善していきたい。 随時、保護者からいただいた意見を取り入れ、業務改善している。 	今年度が初めての実施のため、いただいた内容をもとに改善します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 随時、終礼などで意見を把握する機会を設けている。加えて、年2回の個人面談を実施することで、職員の意見を把握する機会を設けている。 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 実施できていない。 	第三者による外部評価は行っていませんが、利用者様からの要望やご意見等の情報共有を行い、改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 月1回、事業所内にて研修会を実施している。 外部研修にも参加する機会を作っている。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 支援目標に向けて、具体的な支援方法を話している。 	

適切な支援の提供

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーマルな評価ツールとして、KIDS乳幼児発達検査を開始時に実施し、年に1回再評価している。 ・日々のアセスメントは朝礼で確認し、終礼にて共有している。 	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			移行支援や地域支援・地域連携は場合によっては、具体的な支援内容を設定する必要があると考えられます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			設定療育に対して意見を出し合える時間を確保することが必要と考えられます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・同じスタッフだけで作成せず、それぞれが意見を出し合っている。 ・時間確保が難しいですが、設定療育について皆で話し合える時間があれば、色んな案も出るし、共有できるかと思う。 	設定療育に対して意見を出し合える時間を確保することが必要と考えられます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼で個々への支援方法を確認し合って、共通理解のもと、その日の支援に取り組んでいる。 	設定療育時の役割分担をより具体的に決めると、よりスムーズに行えると考えられます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・終礼にて実施している。 	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	(28～30は、センターのみ回答)	—	—		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	(31は、事業所のみ回答)				・児童発達支援センターへの見学を実施している。	

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		事業所の取り組みとしてできていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			・アプリを用いたコミュニケーションや送迎時、面談などで行っている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		家族が参加できる支援の提案や研修会の機会を作ることが必要と考えられます。
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		保護者同士の交流する機会を設けることが必要と考えられます。

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			・コドモン、ホームページやインスタグラムにて情報を発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			・ホームページやインスタグラムなどを掲載の際については、事前に確認し、可能な利用者様には同意書をいただいている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・民生委員への挨拶や町内会への参加は行っている。	現在、外部に開かれた事業所の行事自体がないため、検討する必要があります。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	職員に対しては周知されているが、利用者様に対して周知されていない。	ホームページに各種マニュアルを整備した形で載せ、利用者様に周知する必要があります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・面談時に服薬やアレルギーの確認を行っている。	予防接種の確認はできていません。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・面談時に服薬やアレルギーの確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		利用者様への周知が必要と考えられます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			